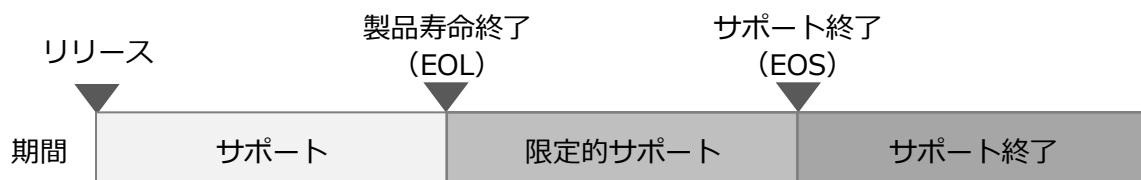


## セキュリティ関連情報

### 1. EOL/EOS について

当該製品（全自動遺伝子解析装置 ミュータスワコー g1）における、EOL,EOS の定義を以下に示します。



#### <EOL/EOS 方針>

EOL（製品寿命終了）：当該製品の販売終了から 7 年

EOS（サポート終了）：当該製品の販売終了から 10 年

#### <本製品の EOL/EOS 情報>

販売名	バージョン	製品寿命終了(EOL)	サポート終了(EOS)
全自動遺伝子解析装置 ミュータスワコー g1	すべて	当該製品の販売終了から 7 年	当該製品の販売終了から 10 年

※1:本情報は必要に応じて変更されることがあります。

### 2. 保守計画について

#### ●サポート期間中（～EOL）

- ・ 対応が必要な脆弱性に対し、ソフトウェアアップデート及び脆弱性修正の提供を行います。
- ・ 実際の適用作業は、保守契約／スポットサービス請負契約に基づきサービス作業を提供します。

#### ●限定的サポート中（EOL～EOS）

- ・ 対応が必要な脆弱性に対し、ソフトウェアアップデート及び脆弱性修正の提供を行います。
- ・ 実際の適用作業は、保守契約／スポットサービス請負契約に基づきサービス作業を提供します。
- ・ 一般的な不具合等の解析依頼や修正については、当社により対応必要と判断した場合に

対応します。

- ・ 本期間で装置の買い替え、または、バージョンアップを検討してください（詳細については、当社の営業またはサービス担当者にお問い合わせください。）。

●サポート終了後（EOS 以降）

- ・ 市販後監視の一環として脆弱性情報を監視しますが、薬事上の回収（改修）に該当する場合を除き、脆弱性の修正を含むセキュリティアップデートの準備・提供は行いません。セキュリティに関する責任はお客さまへ移転されます。
- ・ 回収（改修）に該当はしないものの、製品に影響する深刻度が高い脆弱性（緊急性が高い脆弱性）については、情報を提供します。
  - ・ その他、情報提供を求められた場合は、セキュリティアドバイザリの開示を行います。

**3. セキュリティインシデント発生時の対応**

- ・ 本製品の取扱説明書 1.21「サイバーセキュリティについて」をご確認ください。

以上